

尼崎市事業所景況調査 【 2021(令和3)年10-12月期 】

業況判断DIは、全産業、製造業、非製造業で改善。

<調査結果のポイント>

- ◎ 出荷額・売上高等DI 全産業、製造業、非製造業で改善。
- ◎ (原材料)仕入価格DI 全産業、製造業、非製造業で、ともに大幅な上昇。
- ◎ 収益DI 全産業、非製造業で改善。製造業で悪化。

<主要指標の結果概要>

- (1) 業況判断DIは、▲15.3(17.2ポイント上昇)で改善。来期は改善の見通し。
 産業別では、製造業は▲4.0(11.0ポイント上昇)で改善。非製造業は▲20.5(19.5ポイント上昇)で改善。
 製造業の規模別では、大企業は21.1(16.4ポイント上昇)で改善、中小企業は▲8.6(9.9ポイント上昇)で改善。
 非製造業の業種別では、建設業は▲10.5(17.0ポイント上昇)で改善、卸売業は▲16.6(16.7ポイント上昇)で改善、小売業は▲40.3(20.0ポイント上昇)で大幅に改善、サービス業は▲16.9(18.9ポイント上昇)で改善しました。
- (2) 出荷額・売上高・完成工事高DIは、▲16.9(13.3ポイント上昇)で、改善。
- (3) 売上単価・客単価DIは、▲10.1(9.8ポイント上昇)で、改善。
- (4) (原材料)仕入価格DIは、53.1(23.1ポイント上昇)で、大幅な上昇。
- (5) 在庫水準DIは、▲1.0(5.5ポイント低下)で、不足感が上昇。
- (6) 収益DIは、▲29.7(7.4ポイント上昇)で、改善。
- (7) 資金繰りDIは、▲18.0(3.8ポイント上昇)で、改善。
- (8) 従業員の過不足DIは、▲30.0(10.1ポイント低下)で、不足感が上昇。
- (9) 設備投資実施事業所の割合は、18.3%(2.5ポイント低下)で、低下。来期は上昇の見通し。

注1: DIは景気動向指数「デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)」の略。「増加」(または「上昇」「好転」「過剰」と回答した企業の比率から「減少」(または「下降」「悪化」「不足」と回答した企業の比率を差し引いたものです。
 注2: ()内は前回調査との差を示します。

<調査要領>

- (1) 調査時点: 令和3年11月12日
- (2) 調査方法: アンケート用紙郵送による
- (3) 業種別回収数、回収率、配布数: 右表のとおり
- (4) 全体の有効回収率: 39.3%
- (5) 事業主体: 尼崎市
 調査主体: (公財) 尼崎地域産業活性化機構

業種	回収数	回収率(%)	配布数
全産業	393	39.3	1,000
製造業	124	47.0	264
大企業	19	45.2	42
中小企業	105	47.3	222
化学	17	43.6	39
鉄・非鉄	35	49.3	71
一般機械	32	50.8	63
電気機械	14	41.2	34
その他	26	45.6	57
非製造業	269	36.5	736
建設業	38	50.0	76
卸売業	31	51.7	60
小売業	52	31.1	167
サービス業	148	34.2	433

<本資料の問い合わせ先>

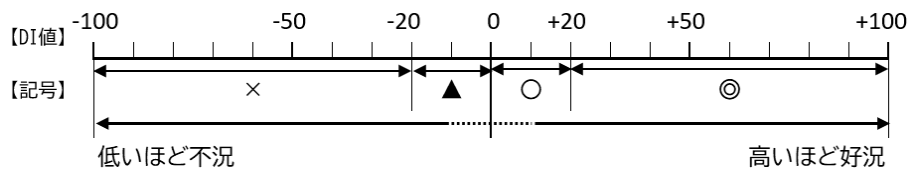
- 尼崎市 経済環境局 経済活性課
 担当: 重本・田枝 連絡先: 06-6489-6670
- (公財) 尼崎地域産業活性化機構 調査研究室
 担当: 宮崎 連絡先: 06-6488-9501(代)
<https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html>

■景況調査結果の総括（令和3年10-12月期）

業種 項目	全産業	製造業			非製造業				
		全体	大企業	中小企業	全体	建設業	卸売業	小売業	サービス業
今回 業況判断 DI値 ※1	▲ -15.3	▲ -4.0	◎ 21.1	▲ -8.6	× -20.5	▲ -10.5	▲ -16.6	× -40.3	▲ -16.9
前回との 差 ※2	↗ 17.2	↗ 11.0	↗ 16.4	↗ 9.9	↗ 19.5	↗ 17.0	↗ 16.7	↗ 20.0	↗ 18.9

表のよみ方

※1：「業況判断DI値」(=「好転した割合」-「悪化した割合」)は、下図のとおり記号化しました。



※2：「前回との差」は、前回調査のDI値との差を、下表のとおり記号化しました。

記号	↘	↙	↖	↔	↗	↘	↗
意味	大幅な下落	下落	やや下落	横ばい	やや上昇	上昇	大幅な上昇
DI値の差	-20.0以下	-20.0超～ -5.0以下	-5.0超～ -1.0以下	-1.0超～ 1.0未満	1.0以上～ 5.0未満	5.0以上～ 20.0未満	20.0以上

■産業別の概要

【製造業】「事業所の業況判断DI」は▲4.0(11.0ポイント上昇)で、改善しました。「出荷額DI」は改善しましたが、「収益DI」、「資金繰りDI」は悪化しました。「売上単価DI」が上昇した一方で、「原材料仕入価格DI」は大幅に上昇して73.4となり、本調査開始以来、最も高くなりました。「在庫水準DI」は低下し、過剰感が低下しました。「設備投資」を実施した事業所の割合は横ばい、来期は上昇の見通しです。「従業員過不足DI」は低下し、不足感が上昇しました。「来期業況」は悪化の見通しです。

<規模別>【大企業】21.1(16.4ポイント上昇)で改善。来期は大幅な悪化の見通し。

【中小企業】▲8.6(9.9ポイント上昇)で改善。来期は改善の見通し。

<業種別>【化学・プラ】▲11.8(13.2ポイント上昇)で改善。来期は改善の見通し。

【鉄・非鉄・金属】11.4(8.8ポイント上昇)で改善。来期は大幅な悪化の見通し。

【一般・輸送機械】3.1(19.3ポイント上昇)で改善。来期は改善の見通し。

【電気・機械】▲28.6(16.1ポイント低下)で悪化。来期は大幅な改善の見通し。

【その他】▲15.4(16.8ポイント上昇)で改善。来期は改善の見通し。

【非製造業】「事業所の業況判断DI」は▲20.5(19.5ポイント上昇)で、改善しました。「売上高等DI」「収益DI」「資金繰りDI」はともに改善しました。「売上単価・客単価DI」は上昇しましたが、「(原材料)仕入価格DI」はこれを上回る大幅な上昇となりました。「在庫水準DI」は低下し、不足感が上昇しました。「設備投資」を実施した事業所の割合は低下し、来期は上昇の見通しです。「従業員過不足DI」は低下し、不足感が上昇しました。「来期業況」は、改善の見通しです。

<業種別の業況判断DI>

[建設業]▲10.5(17.0ポイント上昇)で改善。来期は悪化の見通し。

[卸売業]▲16.6(16.7ポイント上昇)で改善。来期は改善の見通し。

[小売業]▲40.3(20.0ポイント上昇)で大幅な改善。来期は横ばいの見通し。

[サービス業]▲16.9(18.9ポイント上昇)で改善。来期は改善の見通し。

調査結果の詳細は、右記ホームページをご覧ください。 <https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html>